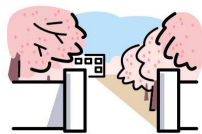


夢のかけ橋



高知県教育だより ～ 第33号 ～



平成26年

3

2014.3

教職員の皆様へ

■離任のあいさつ

私は、県庁生活40年になりますが、その最後に、尾崎知事からは、大変やりがいのあるミッションをいただきました。私なりに、それまでの経験で得てきた知見をつぎ込み、精一杯努めたつもりです。

本県の教育課題は多く、また大きく、正直に申しますと、前に転がすことができるかな、と思ったこともあります。そうした中でも、まずは自分たちが元気を出そう、前向きになろう、未来を信じよう、そしてそれをみんなに伝染させよう、との思いで取り組んできました。

まずは、県教育委員会事務局の職員から始まり、市町村教育委員会や学校などへと伝染していったように思います。

成果が表れるには、学校の組織文化が変化をし、仕事の仕方も変化する必要があります。そのために仕掛けをし、仕組みづくりに努めてきました。また、一定の時間も必要です。その間、決して気が長いとは言えない尾崎知事もじっと我慢をされると同時に、教育委員会の取り組みを全面的にバックアップしてくれました。まさに思いを同じくし、私がよく使う言葉ですが、ベクトルを合わせて取り組むことができました。

そして、何より、教育活動を実践している学校現場の教職員の皆様とのベクトルが合ってきたこと、現場の頑張りがはっきりと見えてきたことが何よりうれしいことでした。

充実した6年間だったと思いますし、このように最後を迎えられるのは役人として幸せだと思います。

これからの本県教育に私なりに思いをはせてみますと、教育に求められる内容やレベルが大きく変化していくことが考えられます。今まで私が取り組んできた仕事の仕方の見直しだけでは対応できなくなると考えています。まさに、教員個々の力量アップとともに、教員集団としての力量アップが求められると考えています。

こうしたことに対応していくためには、教員個々や教員集団の力量アップの研究や研修にとどまらず、併行して、求められる新しい教育を勇気を持って先導的に実践し、そこから得られる知見をフィードバックするという先進的、戦略的な取組が重要だと思います。

同時に、本県の風土を、もっともっと教育的なものとし、その風土の上で教育活動が行われれば、素晴らしい「高知家」になると思います。そのようになってほしいと心から願っていますし、また、県民の皆様力が合わされば、きっとそうなる、と固く信じています。高知県の教育のさらなる進化を祈るものです。



中澤 卓史

■着任のあいさつ

この4月から、中沢教育長の後任として就任します田村 壮児です。

中沢教育長は、6年間の就任期間中に、卓越した手腕を発揮され、学力の向上など教育改革を軌道に乗せてこられましたので、私の役割としては、その上昇軌道が失速せず続いていくよう、しっかりとこれまでの取組を継承していくことだと考えております。

その際、2つのことを特に心がけたいと思います。その1つは、「学校や教員の皆様などの現場を大事にする」ということです。2つ目は、「子どもたちの命・身体・心をしっかり守る」ということです。また、これらのためにも、現場である学校、市町村教委、家庭、地域などと緊密なコミュニケーションを図ることが重要だと考えています。

教育に関する経験も乏しく、非才な私であるため、多くの皆様にご心配をおかけしていると思いますが、ご支援、ご協力をいただきながら、職責を全うしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



田村 壮児

子どもたち一人一人に確かな学力を育むために ～平成25年度高知県学力定着状況調査～

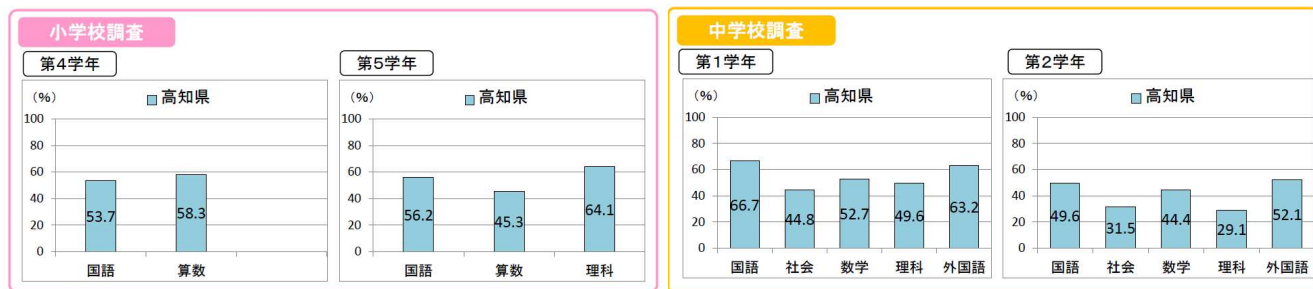
■高知県学力定着状況調査について

本調査は、これまでの学力調査結果から明らかになった小学校中学年から見られる学力の二極化や中1ギャップによる学力低下など、本県の子どもの様々な学力課題を解決するために実施しております。2回目の実施となる本年度は、調査学年を拡充し、小学校第4・5学年、中学校第1・2学年を対象としました。

調査問題は、各教科の知識や技能を問う問題や、それらを活用して考えたり表現したりする力を問う問題で構成しており、子どもたちの学習の定着状況を把握するとともに、学習指導の充実や指導方法の改善に生かし、学習内容の確かな定着を図っていただきたいと考えております。

今回は、1月9日に実施した調査結果の概要と、今後のさらなる学力向上に向けた取組について紹介します。

■調査結果について



本調査の結果から見てきたこと

- ☆国語の表現の技法や算数・数学の用語の意味理解など、基礎的・基本的な知識や技能の定着においては改善傾向にあります。
- ★複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには前回調査に引き続き課題が見られます。

■今後の取組について

- ・各学校が中期的な展望に立ち、学力向上対策のPDCAサイクルをより効果的に機能させるために、「学校経営計画」を導入し、組織力向上と授業改善を図っていきます。
- ・ことばの育成プロジェクト推進事業において、学校図書館活動やNIE活動（新聞の活用）の充実を図り、児童生徒の思考力や表現力を向上させるとともに、豊かな心を育成します。
- ・従来から活用している単元テストや学習シートなどに加えて、数学思考力問題集も効果的に活用しながら各教科における指導方法の改善や質の高い授業づくりを進めていきます。

授業や家庭学習に活用できる学習シートなど

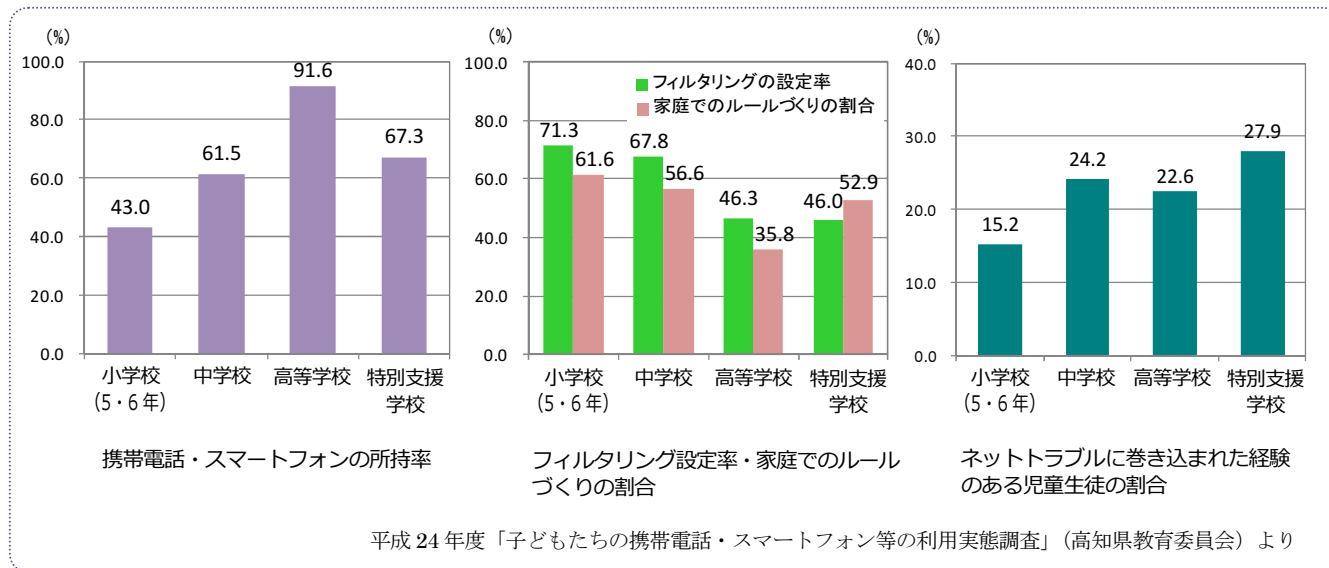
- 国語学習シート 小1～中3
- 算数・数学シート 小4～中3
- 数学思考力問題集 中1～中3
- 全国学力・学習状況調査 数学B問題集 中1～中3
- 理科思考力問題集 小5～中3
- 英語ライティングシート 中1～中3
- きっとある キミの心にひびく本

基礎・基本の定着を図り、授業と家庭学習のサイクル化を大切にしましょう。



ネット問題への総合的な対策について

■高知県の子どもたちの携帯電話・スマートフォンの利用実態

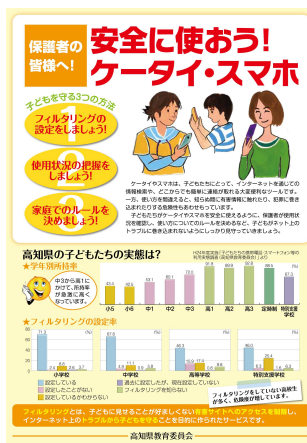


子どもたちの携帯電話・スマートフォンの所持率は、校種が進むにつれて上がりますが、逆にフィルタリングの設定率や使用に関して家庭でルールを定めている割合は下がる傾向にあります。また、「チェーンメール」や「交友関係でのもめ事、ケンカ」などのネットトラブルに巻き込まれた経験のある児童生徒の割合は、およそ5人に1人で、その中には「交流サイトや出会い系サイト」を利用している児童生徒も少なからずいる状況です。

■平成25年度の取組

県教育委員会では、携帯電話やスマートフォンの危険性を広く知ってもらうために保護者向けのリーフレットを作成し、昨年7月に、小学校4年生から高校生までの子どもがいる家庭を対象に配付しました。そして、参観日やPTA研修会等の機会をとらえて、フィルタリングの設定や携帯電話等の使用状況の把握、家庭でのルールづくりの必要性などについて、保護者への啓発を行ってきました。

また、児童生徒に対しては、少年サポートセンターと連携した非行防止教室を実施し、携帯電話等の安全な使い方を周知するとともに、今年2月には、小・中・高・特別支援学校の児童生徒向けのリーフレットを作成・配付し、ネットいじめや、友だちとのメールのやり取りに関する留意点など、具体的な事例を交えながら、携帯電話等の危険性のほか、相手の気持ちを考え、安全に使うことの必要性について理解を促してきました。



保護者用リーフレット



児童生徒用リーフレット【中学生用】

■平成26年度取組

これまでの取組を継続することに加え、教職員向けに参考となる指導事例集を作成し、インターネットを安全に使うための情報モラル教育を推進します。

また、新たに学校ネットパトロールを実施し、ネット上のいじめや誹謗中傷などの監視を行うとともに、必要に応じて、学校への連絡やサイトの管理者への削除要請などを行います。

今後も、知事部局や警察との連携をさらに深め、総合的なネット問題対策を推進していきます。

高等学校等就学支援金制度について

『公立高等学校等に係る授業料不徴収制度』と『私立高等学校等に係る就学支援金制度』を就学支援金制度に一本化し、所得制限を設けた新しい高等学校等就学支援金制度が平成26年4月から始まります。

この制度では、国公立を問わず、高校等の授業料の支援として一定の収入額未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。対象は、平成26年4月以降に入学する生徒で、現在在学中の生徒に関しては、引き続き現行制度（[公立高校 授業料不徴収制度][私立高校等 就学支援金制度]）が適用されます。

また、国公立を問わず、「市町村民税所得割額」が30万4,200円以上の世帯や就学支援金の受給資格認定を申請しない方は、授業料を負担することとなります。

このほか、就学支援金の対象とならない世帯で保護者等の失職、倒産などの家計急変により収入が激減した世帯に対しては、「家計急変への支援」を、また、高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合には、「学び直しへの支援」を行う予定です。

なお、就学支援金以外にも、所得制限により捻出した財源をもとに低所得者世帯を対象とした「高校生等奨学給付金」制度が創設される予定です。

県教育委員会では、新制度へのスムーズな移行を図るため、保護者向けに申請の流れやQ&Aを記載したリーフレットを作成し、平成26年2月に県内すべての中学3年生など入学予定者に配布したところです。制度の概要については、文部科学省ホームページ（下記）でご覧になることができます。



「高校生等への修学支援」 文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1342886.htm

高等学校課 総務担当 088-821-4851

行事予定 (4月、5月の主なもの)

4月

- 4日 新入学児童への交通安全傘、防犯笛、防犯ブザー贈呈式
(高知市 県庁西庁舎教育長室 9:30~)
- 7日 スクールカウンセラー等・心の教育アドバイザー等辞令交付式
(高知市 教育センター分館 15:00~)
- 9日 市町村指導事務・義務教育関係指導主事合同連絡協議会
(高知市 教育センター本館 9:30~)
- 11日 第1回県立中学校長会議
(高知市 共済会館 9:30~)
- 15日 西部地区公立小・中学校長会
(宿毛市 宿毛市立文教センター 9:00~)
- 17日 東部地区公立小・中学校長会
(安田町 安田町文化センター 9:00~)
- 18日 中部地区公立小・中学校長会
(高知市 サンピアシリーズ 9:00~)
- 県立学校副校長・教頭会議
(高知市 教育センター分館 10:00~)
- 22日 全国学力・学習状況調査
- 23日 平成26年度高知縣市町村教育長会議
(高知市 県立ふくし交流プラザ 13:30~)
- 25日 定例教育委員会
(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13:30~)
- 県立学校事務長会議
(高知市 教育センター分館 10:30~)

- 28日 ことばの力育成プロジェクト推進事業連絡協議会Ⅰ
(高知市 教育センター分館 午後)

5月

- 8日 県立中学校長会
(高知市 教育センター分館 時間未定)
- 9日 高知県小学校生徒指導担当者会
(高知市 サンピアシリーズ 13:30~)
- 19日 県立学校人権教育主任連絡協議会
(いの町 すこやかセンター伊野 13:30~)
- 20日 高知県中学校生徒指導主事会
(高知市 サンピアシリーズ 10:00~)
- 定例教育委員会
(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13:30~)
- 23日 小中学校人権教育主任連絡協議会
(香南市 香南市立夜須中央公民館 13:30~)
- 24~26日 高等学校体育大会
(高知市 春野総合運動子園他)
- 27日 小中学校人権教育主任連絡協議会
(いの町 県立高知青少年の家 13:30~)
- 29日 高知県高等学校・特別支援学校生徒指導主事会
(高知市 ふくし交流プラザ 10:00~)
- 30日 小中学校人権教育主任連絡協議会
(須崎市 須崎市立市民文化会館 13:30~)

<注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

編集後記

「夢のかけ橋」第33号をお届けします。

新年度もいろいろな情報をできる限り速く皆様にお届けしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/31000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課

(TEL)088-821-4731

(FAX)088-821-4558

(E-mail)310101@ken.pref.kochi.lg.jp

